

平成27年度 学校教育自己診断結果について

1 対象者 (提出数/在籍)	生徒	保護者	教職員
	237/563	115/563	43/49
	42%	20%	88%

- 2 時期(方法) 11月中旬～12月中旬  
(インターネット回答を含む記述式アンケートを実施)
- 3 対象者別・診断結果一覧表(別紙)
- 4 対象別・肯定的意見の多い項目について(80%以上)

【 生徒 】

番号	質問項目	H27年	H26年
2	この学校には生徒のニーズにあった特色がある。	91%	88%
8	学校生活についての先生の指導は納得できる。	83%	85%
1	桃谷高校に入学してよかった。	83%	86%
14	学校では将来の進路や生き方について考える機会がある。	81%	79%
4	教え方に様々な工夫をしている先生が多い。	80%	82%

【 保護者 】

番号	質問項目	H27年	H26年
2	この学校には、生徒や保護者のニーズにあった特色がある。	96%	97%
1	桃谷高校に入学させてよかった。	95%	96%
16	学校では、子どもに関する個人情報を守られている。	93%	93%
6	学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	91%	95%
7	先生は子どものことを理解してくれている。	89%	86%
5	学校の生徒指導方針に共感できる。	83%	92%
15	地震台風等、子どもや保護者に行動マニュアルが知らされている。	83%	78%
14	学校は、教育情報について提供の努力をしている。	82%	88%
8	学校行事は、生徒が楽しく参加できるよう工夫されている。	81%	78%
13	学校は、生徒に人権を尊重する意識を育てようとしている。	81%	91%

【 教職員 】

番号	質問項目	H27年	H26年
3	わかりやすく楽しい授業を心がけている。	100%	100%
2	この学校は、生徒や保護者のニーズにあった特色がある。	95%	95%
1	生徒は、桃谷高校に入学してよかったと思っている。	93%	89%
4	学習指導を、個に応じた観点で工夫して行っている。	91%	89%
13	興味・関心・適性に応じて進路選択ができるようきめ細かい情報提供を行っている。	91%	80%
5	教育活動において、評価点検を行い次年度の計画にいかしている。	86%	73%
6	家庭連絡をきめ細かく行い生徒指導にいかしている。	84%	73%
8	カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。	81%	68%
14	教育活動において、生徒に社会規範を守る意識が育まれる機会をつくるよう配慮している。	81%	57%

【 分析・課題 】

1. 対象者別に見た全体の肯定感の割合は、生徒が70%(22項目)、保護者が77%(20項目)、教職員が68%(25項目)であった。生徒・保護者・教職員ともに評価の7割前後が肯定的な意見があった点については、今年度の取組みが全体的に評価されていると捉えたい。
2. 特に、教職員の結果に見られる、⑬進路指導、⑤評価点検、⑥家庭との連携、⑧教育相談、⑭道徳教育等の評価は、昨年度との比較からいづれも10ポイントを上回る高い結果であった。教職員の意識の向上や組織的な取組みの成果として捉えたい。

5 肯定的意見が50パーセント以下の項目について

【 生徒 】			
番号	質問項目	H27年	H26年
20	学校のホームページやメールマガジンを活用している。	49%	55%
7	授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある。	38%	43%
【 保護者 】			
番号	質問項目	H27年	H26年
19	授業参観や学校行事などに参加したことがある。	35%	43%
20	P T A活動には参加しやすい。	23%	34%
【 教職員 】			
番号	質問項目	H27年	H26年
16	事故事件災害等に対して迅速かつ適切な対応ができるよう、きめ細かい情報提供を行っている。	47%	50%
23	職員会議をはじめ各種会議が、情報交換と課題検討の場として有効に機能している。	44%	55%
22	各分掌の連携が円滑に行われ、有機的に機能している。	42%	57%
21	学校運営に教職員の意見が反映されている。	40%	59%
15	人権尊重に関する様々な課題や指導方法について、全教職員で話し合っている。	37%	47%
18	この学校では、学習や活動がしやすいように施設や設備が整っている。	7%	23%

6 必須（共通）項目等に関する比較について

①学校への意識：「桃谷高校に入学して（させて）よかった。」 生徒（83%） 保護者（95%） 教職員（93%） 「この学校には、生徒や保護者のニーズにあった特色がある。」 生徒（91%） 保護者（96%） 教職員（95%）
②学習指導：「授業はわかりやすく楽しい。」 「・・・わかりやすい授業を心がけている。」 生徒（75%） 保護者（79%） 教職員（100%）
③生徒指導：「学校生活についての先生の指導は納得できる。」 生徒（83%） 保護者（84%） 教職員（84%）
④教育相談：「担任以外にも保健室・相談室等、気軽に相談することができる先生がいる。」 生徒（63%） 保護者（77%） 教職員（74%）
⑤進路指導：「学校では、将来の進路や生き方について考える機会がある。」 生徒（81%） 保護者（83%） 教職員（65%） 「学校は、進路についての情報をよく知らせてくれる。」 生徒（75%） 保護者（73%） 教職員（91%）
⑥道徳教育：「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会が多い。」 生徒（75%） 保護者（78%） 教職員（81%）
⑦人権教育：「学校は生徒に人権を尊重する意識を育てようとしている。」 生徒（75%） 保護者（81%） 「…に関する様々な課題や指導方法について、全教職員で話し合っている。」 教職員（37%）
⑧情報提供：「学校は教育情報について、提供の努力をしている。」 保護者（82%）

【 分析・課題 】

3.共通項目の①「学校への意識」に関する生徒、保護者の高い結果について、多様なニーズに応える教育活動の実践が評価されているものとして捉えたい。

★②「学習指導」③「生徒指導」⑤「進路指導」⑥「道徳教育」⑦「人権教育」等の7割～8割以上の結果については、今年度から始めた「ももだにプロジェクト」を柱とするキャリア教育の取組みや、ユニバーサルデザインの観点たった教育活動が総合的に評価されているものとしてさらに充実させて行く必要がある。

4. 肯定的意見が5割を切った項目・課題への改善策等

★生徒（2項目）の20番については学校情報の必要性や有効性について、担任を中心としたより丁寧な指導に取り組むたい。また、7番については、アクティブラーニングの視点からの授業改善の検討に取り組む必要がある。★保護者（2項目）では、行事の持ち方やP T A活動への参画について、関係する部署やP T A役員等と検討して行きたい。★教職員（6項目）の内、16番・23番・21番・15番等の危機管理や校務運営上の課題については、教職員全体で共有し、運営委員会を中心に検討していく必要がある。特に、最下位の18番学習や活動の条件整備や改善については、同じ施設を共有する他部・他課程との協議や調整が必要である。

5. 対象者別に見た提出率について、より多くの意見を得られるよう回収の方法など工夫し生徒は5割以上、保護者は3割以上の回収を旨とし取り組む必要がある。